

50. 肺炎治療を契機に発見された小型細気管支肺胞上皮肺癌の1例

筑波大学附属病院呼吸器外科

小貫琢哉, 伊藤博道, 酒井光昭

筑波大学臨床医学系外科 石川成美

山本達生, 鬼塚正孝, 榎原 謙

同 基礎医学系病理

森下由紀雄, 飯島達生, 野口雅之

筑波大学大学院医学研究科 南 優子

喫煙歴のある56歳女性, 平成14年12月, 肺炎で近医入院, 胸部CT上, 両側陰影を確認, 今年9月のCT上, 右肺S²に葉間に接するスリガラス影が残存, 器質化肺炎と細気管支肺胞上皮癌(BAC)の鑑別のため手術方針とし, 迅速病理診で肺腺癌を確認, 右肺上葉切除術(ND2a)施行, 永久標本上, 直径13mmのBAC(野口Type A)と周囲の複数のAAHを確認, 肺炎を契機に発見され, BACと複数のAAHを伴った1例を経験した.